

大森山動物園～あきぎんオモリンの森～
3月19日(土)、通常開園スタート!



オモリン

開園日時 3月19日(土)▶11月30日(水)
9:00～16:30(入園は16:00まで)

入園料 720円(高校生以下無料)
年間パスポート1,230円

愛称が新たに、「大森山動物園～あきぎんオモリンの森～」に決まった動物園の通常開園がスタートします!

今年もテーマは「動物と語らう森」。園内では、カンガルーやペンギンの展示場をリニューアルするなど、動物を間近で観察できるエリアが増えました。昨年末に新しく仲間入りした、カリフォルニアアシカの「アイラちゃん」(右写真)も待ってるよ! みんなで来てね!



カンガルー展示場
「カンガルーアイランド」



開園初日にオープニングセレモニーとネーミングライツ看板除幕式を開催!

3月19日(土)8:45～、ビジターセンター正面

公募により、(株)秋田銀行がネーミングライツ(命名権)パートナーとなり、この春から動物園の愛称が「大森山動物園～あきぎんオモリンの森～」になります。

開園初日には名誉園長の高木美保さんも駆けつけ、秋田銀行吹奏楽団の演奏のもと、オープニングセレモニーとあわせて、愛称の看板除幕式を行います。

来園者へプレゼント…先着200人にお菓子をプレゼント。また、先着100人にぬいぐるみや動物園オリジナルグッズが当たる引換券を配布します

新イベント「ペンギンガイド」…新しくなったペンギン舎の中に入って、間近でご覧いただけます!

野鳥写真展…大森山公園で見られる野鳥を紹介

お楽しみ抽選会…ビジターセンターの飲食コーナー・売店と軽食森のこまちの利用者を対象に開催

★3月19日は他にもイベントいっぱい★

問い合わせ 大森山動物園 ☎(828)5508

もくじ



表紙のはなし♪

江戸時代中頃から続くといわれる八橋人形の、最後の伝承者だった道川トモさんが一昨年亡くなられました。

その伝統を絶やしてはいけないと、立ち上げられたのが「八橋人形伝承の会」。現在、写真の梅津秀会長を中心に創作活動が続けられています。

その味わいある作品は、にぎわい交流館で開催中の「秋田市工芸品まつり」(3月6日(日)まで)でもご覧いただけます。ぜひ足をお運びください。

3 市長コラム

4 平成28年度予算案

6 市役所からのお知らせ

…介護保険料(普通徴収)の納付回数を変更/窓口の混雑緩和にご協力ください/マイナンバーカードも一緒にお引っ越し/軽自動車税の税率が変わります ほか

10 上下水道の広場

14 秋田市農業大賞/17歳の6次産業化商品/市民農園利用者募集/農作業の標準受委託料

16 新庁舎に中央市民サービスセンター…施設の利用案内

17 シーズン開幕!ブラウブリッツ秋田/屋外スポーツ施設が開館します

18 情報チャンネルa

…版画と読書感想文コンクールの結果/育児コーナー/講座/催し/案内/健康 ほか

24 新庁舎カミングスーン④

■編集発行=秋田市広報広聴課 ☎018(866)2034

■〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

■広報あきたは毎月第1・第3金曜日発行です。

公式ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/>

公式ツイッター <https://twitter.com/akitacity>

秋田市役所Facebookページ

<https://www.facebook.com/city.akita>

日々初心

市長コラム・日々初心
市長 ● 穂積 志(もとむ)



レッサーパンダの「まんまタイム」を見てきました



動物と語らう森

真綿のようにふつくらとした新雪の上に、朝、かわいい足跡を見つけた時があります。小さな3つの爪跡はスズメでしょうか。少し大きめのは、自宅周辺に散歩にくるキジかも知れません。肉球のふくらみを感じさせる猫らしいものもあれば、大きな靴跡が一緒なのは愛犬との散歩のようです。

厳しい冬の間、動物たちはどんな生活をしているのかな？ そんなことを考えながら、2月11日の建国記念の日、大森山動物園ミルヴェに出かけてみました。

最近のミルヴェは、冬期間でも土・日や祝日は開園しており、当日はこの季節に珍しい快晴で穏やかな日和でした。私が着いた頃には、入場者が1千人を越え、ちょうどレッサーパンダの「まんまタイム」の時間でした。これは、飼育員の解説付きで動物たちの食事風景をご覧いただくもので、りんごを手にした飼育員とそれをじっと見つめるレッサーパンダの

「ゆりちゃん」との息がぴったりで、まるで言葉が通じているようでした。それだけ、普段から動物に愛情を注ぎ飼育しているということなのでしょう。また、動物だけでなく観覧者を引きつける話術も楽しく絶妙で、私もしばらくの間、飼育員の話とレッサーパンダの動きに釘付けとなりました。

ミルヴェのリーフレットには、「動物と語らう森」とあります。やや手前味噌になりますが、こうしたところにも、動物を単に見てもらうだけではなく、人と動物との距離を縮めたいという、「語らう森」職員の気持ちが見えられます。ようであれしくなりました。

みなさんは、アニマルセラピーという言葉をご存知でしょうか。心や体が疲れているときや傷ついている時に、動物とふれあうことで不思議と元気がわいてくることがあります。実際に、施設や病院で長期療養されているかたが、犬とのふれあいで会話や笑顔が戻



ペンギン舎もリニューアルしました。ペンギンがより近くなります。お楽しみに♪

り、表情の変化があつたなどの報告もあります。人間と犬や猫とのフレンドリーな間柄はよく知られていることですが、動物が持つ人間を癒してくれる力には無限の可能性を感じます。

春は、家庭や学校、職場も何かと動きのある落ち着かない時季ですが、気持ちをリフレッシュさせるために「動物と語らう森」に、まずは一度足を運んでみてください。きつとみなさんを満足させてくれるはずですよ。

今シーズンの通常開園は3月19日、名誉園長の高木美保さんも駆けつけてくれる予定です。ネーミングライツの導入で、愛称も「あきぎんオモリンの森」に変わるほか、ペンギン舎のリニューアルなど、今年の大森山も明るい話題でいっぱいです。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>